

(4) 教育普及事業

1. 事業の基本的な考え方

展示解説、普及活動等を行う教育普及事業は、調査・収集・整理・保存・展示・研究などの諸活動とともに、文学館活動の中で重要な位置を占める。社会教育・学校教育との連携を図りつつ、文学専門の博物館としての特性を生かし、年間を通しての文学講座や講演会、創作教室、文学的に価値ある映画の上映、朗読公演会など、文学について学び親しむ事業を幅広い世代に向けて行っている。

また、山梨ゆかりの作家や作品の資料を活用した学習プログラムや子ども向け事業の充実を図ることは、郷土への関心を高め、郷土を愛し、郷土に誇りを持てるような心情を育むという点からも重要であると考えます。

2. 教育普及活動の内容

(1) 特設展・企画展関連教育普及事業

特別展示「文豪の筆跡—館蔵の名品から—」、企画展「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」、特設展「それぞれの源氏物語」に関連して、作家・研究者・関係者による講演会や関連講座などを行った。特設展・企画展のテーマを詳しく解説し、展示では扱えなかった視点から考察を加えるとともに、特設展・企画展そのものへの理解を深められるように実施した。外部講師及び職員による講演会・講座などを通して文学を学ぶ機会を提供した。

- ①外部講師及び職員による講演会・文学講座事業を実施。
- ②関連映画鑑賞会を実施。
- ③関連ワークショップを実施。
- ④チャレンジクイズを作成。

楽しみながら展示の内容が学べる小中学生対象のクイズを通して、文学や作家について学ぶ機会を提供。

(2) 年間文学講座

年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすことを心がけている。令和5年度は、池田尚隆氏（山梨大学名誉教授）による「古典文学講座（全8回）」と古川裕佳氏（都留文科大学教授）による「近代文学講座（全8回）」、当館学芸員による講座（全3回）の3講座を実施した。

講座1のテーマは「『源氏物語』「須磨」「明石」巻—光源氏の挫折と復活を周辺人物との関わりから読む—」、講座2のテーマは「近代文学における「光源氏」的な男たち」、講座3では、「資料から読む作家の交友」「文藝春秋新社社長 佐佐木茂索の日記を読む」「『源氏物語』現代語訳のたのしみ」という講座内容で行った。

(3) 名作映画鑑賞会

文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて考え、作品をより深く理解してもらうための企画である。平成2年から毎年実施している。令和5年度は一般向け映画会「桜田門外ノ変」「キューポラのある街」の2回、子ども向け映画会「西の魔女が死んだ」を1回実施した。

(4) 朗読公演会

作品（詩・小説など）の魅力を朗読公演によって鑑賞する一般向けの企画を1回実施した。これは、開館の年から毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。令和5年度は、紺野美沙子の朗読座「源氏物語〜紫のゆかりの物語〜」を行った。

(5) 文学創作教室

俳句をはじめ短歌や詩、エッセイ・小説などの創作を通じて、文化活動を推進する。小・中・高校生をはじめ広く県民を対象に、文学創作講座を実施した。令和5年度は、三枝昂之館長と三枝浩樹氏による短歌教室（計4回）を開催した。また、川上健一氏を講師とする初心者小説創作教室を2回連続講座として、吉田朝麻氏を講師とする小さな本（ZINE）作り教室を1回開催した。

(6) 山梨の文学解説講座（出前講座）

この講座は、学芸課の職員が学校や市町村施設などに出向き、文学者や作品を紹介したり文学に関する講座を行ったりするものである。令和5年度においても要請を受けた団体に対して可能な限り実施することができた。

(7) 教師のための学習会

県内の小・中・高校・特別支援学校の教職員を対象に春の特別展示と秋の特設展に関わり、文学館職員による説明と観覧を通して、国語教育への活用を図ることができた。令和5年度は2回開催した。

(8) 児童生徒向け事業について

将来の山梨を担うことになる子どもたちに、山梨ゆかりの文学と文学者について学びきっかけを作る。学校教育との連携をより緊密にして、文学を通して豊かな心を育んでいく。

① 文学教室

年間を通じ、随時開催する。小学校、中学校、高等学校の要請に応じ、俳句や短歌の作り方や、山梨にゆかりのある作家の紹介などを行った。

② ワークショップ

主に子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じ、文学や文学者に興味を持ってもらう機会とする。令和5年度は、企画展に関連して、8月に「ガラス工芸でサンキャッチャーを作ろう」、10月に「川柳を詠もう」、特設展に関連して12月に「つまみ細工で梅アクセサリーを作ろう」、また2月には「声に乗せて味わう児童文学原きよ朗読教室」を開催した。

③ 学習ガイド（ジュニアガイドブックと教育普及用資料集）

県出身及びゆかりの文学者や作品について、小中高生の理解を深めるために、教育普及資料集を作成している。平成27年度は宮沢賢治の、29年度は樋口一葉の教育普及資料を改訂するなど、随時見直しを行っている。

また、常設展示室に展示されている山梨県出身およびゆかりの文学者について、わかりやすく解説したジュニアガイドブックを活用し、子どもたちが文学への興味や関心を持てるようにしている。

④ チャレンジ文学館

常設展を見に来た子どもたちが、ポイントをつかんで楽しく観覧できるように、常設展クイズ「わたしはだあれ？」を実施し活用を図っている。また、芸術の森公園内に、俳句や詩、短歌や童謡、小説やエッセイの一節を書いた24本の柱を立て、「文学の柱追跡散歩」としてクイズを実施している。

⑤ チャレンジクイズ

楽しみながら企画展や特設展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供している。

⑥ （ジュニア）インターンシップ（就業体験）

子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来において自らの進路を自身で選択できる能力を育てていくことが課題となっている。文学館としても、中・高校のインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組んでいる。令和5年度は高校生（山梨・城西・青洲）3名、中学生（西・富竹・北）5名を受け入れた。

⑦ 学習資料・アウトリーチセットの貸与

館作成資料の一部を学習のために貸与する。要請により、学校をはじめ、生涯学習事業等に対して貸与を行う。令和5年度は、「石川啄木セット」を1校、「飯田蛇笏・龍太のちまちな人形セット」を3校、「村岡花子と『赤毛のアン』の世界セット」を3校、「宮沢賢治～イーハトーブの世界・嘉内（かない）との友情物語～セット」を9校に、「芥川龍之介の夏休みセット」を3校に、そして「文豪ストレイドッグスセット」を13校に貸し出した。

(9) やまなし文学賞

平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。やまなし文学賞実行委員会が主催、文学館で事務局を担っている。

令和3年度までは一般小説部門と研究・評論部門であったが、令和4年度に要項を改め、小説の募集を行う一般部門・青少年部門の2部門が設けられた。令和5年度は一般部門621編、青少年部門21編の応募があった。

(10) おうちで文学クイズ

文学館ホームページ内に「おうちで文学クイズ」を小中高生向けに掲載。内容は、初級編「俳句・季語当てクイズ」・中級編「文豪作品イントロクイズ」・上級編「小説家クロスワードパズル」と3段階にした。

教育普及事業の実施状況

分類	事業名	内容 講師等	開催日	会場	参加人数	合計
年間文学講座	講座1 『源氏物語』『須磨』『明石』巻一光源氏の挫折と復活を周辺人物との関わりから読む一 講師：池田 尚隆 (山梨大学名誉教授)	①光源氏と「須磨」巻の紫の上	5月27日(土)	講堂	42人	347人
		②光源氏と藤壺・朧月夜	6月24日(土)		55人	
		③光源氏と左大臣・頭中将	7月29日(土)		41人	
		④光源氏と六条御息所・花散里	8月26日(土)		42人	
		⑤光源氏と明石入道	9月30日(土)		39人	
		⑥光源氏と桐壺院・朱雀帝・弘徽殿太后	10月28日(土)		32人	
		⑦光源氏と明石の上	11月25日(土)		45人	
		⑧光源氏と「明石」巻の紫の上	12月23日(土)		51人	
	講座2 「近代文学における「光源氏」的な男たち」 講師：古川 裕佳 (都留文科大学教授)	①志賀直哉「児を盗む話」 女兒を育てること	5月12日(金)	研修室	34人	227人
		②志賀直哉「暗夜行路」のファミリーロマンス	6月9日(金)		30人	
		③志賀直哉「暗夜行路」の姦通	7月7日(金)		31人	
		④里見弴「多情仏心」の空虚な中心	8月4日(金)		26人	
		⑤里見弴「多情仏心」女性の配置から	9月15日(金)		17人	
		⑥谷崎潤一郎「痴人の愛」育った妻の裏切り	10月13日(金)		34人	
		⑦谷崎と源氏物語	11月10日(金)		27人	
		⑧谷崎潤一郎「台所太平記」文豪最後の夢	12月8日(金)		28人	
	講座3	①資料から読む作家の交友 講師：高室有子	6月4日(日)	研修室	32人	75人
		②文藝春秋新社社長 佐佐木茂索の日記を読む 講師：保坂雅子	9月10日(日)		9人	
		③「源氏物語」現代語訳のたのしみ 講師：中野和子	11月12日(日)		34人	
特設展・企画展関連事業	「文豪の筆跡ー館蔵の名品からー」関連事業	講演会「文学資料をどう読み解くかー毛筆・ペン・鉛筆の間」 講師：中島国彦 (早稲田大学名誉教授)	5月5日 (金・祝)	講堂	86人	854人
	「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」関連事業	ワークショップ「ガラス工芸でサンキャッチャーを作ろう」 講師：深沢和美	8月6日(日)	研修室	47人	
	「それぞれの源氏物語」関連事業	朗読公演会 紺野美沙子の朗読座 「源氏物語～紫のゆかりの物語～」	10月29日(日)	講堂	405人	
		講演会『源氏物語』その面白さの秘密 講師：林望(国文学者・作家)	11月11日(土)		184人	
		講演会「樋口一葉の和歌と『源氏物語』」 講師：兵藤裕己 (学習院大学名誉教授)	12月9日(土)		111人	
		ワークショップ「つまみ細工で梅アクセサリーを作ろう」 講師：飯島 薫	12月17日(日)	研修室	21人	

鑑名作映画賞 賞作映画	一般向け	「桜田門外の変」	10月7日(土)	講堂	162人	455人
		「キューポラのある街」	12月10日(日)		154人	
	子ども向け	「西の魔女が死んだ」	8月5日(土)		139人	
文学創作教室	小さな本(ZINE)作り教室	講師：吉田朝麻	7月22日(土)	研修室	35人	178人
	初心者短歌教室	① 講師：三枝浩樹	7月1日(土)		18人	
		② 講師：三枝浩樹	7月8日(土)		18人	
	小説創作教室	① 講師：川上健一	6月3日(土)		25人	
		② 講師：川上健一	10月14日(日)		18人	
	短歌講座	① 講師：三枝昂之	9月2日(土)		25人	
		② 講師：三枝浩樹	12月16日(土)		39人	
ワークショップ	川柳を詠もう	講師：井上信太郎	10月22日(日)	研修室	20人	40人
	朗読教室	原きよ 朗読教室 ～声に乗せて味わう児童文学～ 講師：原きよ	1月28日(日)		20人	
出前講座	山梨の文学解説講座	都留文科大学、峡南国語部会、ことぶき 勸学院	3回		101人	1,246人
	小中高校生対象文学教室	県立中央高校 ほか	15回		1,145人	
文学解説	展示解説 (一般向け)	富士河口湖教育協議会図書館部会	1回	常設展	9人	1,101人
	展示解説 (小中高大学生向け)	小学校3校、中学校14校、高校10校	27回	特設展 企画展	1,092人	
チャレンジクイズ	特別展示チャレンジクイズ	小中高一般	5月1日～6月11日、	特別展示	676人	12,171人
	企画展チャレンジクイズ	小中高一般	7月15日～9月24日	企画展	9,595人	
	特設展 チャレンジクイズ	小中高一般	10月28日～12月17日、 1月27日～3月24日	特設展	753人	
	チャレンジ文学館 (わたしはだあれ?)	小中高一般	通年	常設展	999人	
	文学の柱クイズ	小中高一般	通年	芸術の森公園	148人	
受実入習	ジュニアインターンシップ	中高生 (5人×2日、6人×1日)	7月26日～28日		16人	52人
	博物館実習	学芸員資格取得単位の実習 (6人×6日)	7月19日～23日、25日		36人	
その他	アウトリーチ移動文学館	小中高 32校	通年		11,548人	12,672人
	ZINEフェスティバル	各種ZINEの展示、交流会	7月23日	研修室	225人	
	博学連携広報活動(教育センター初任研を含む)	校長会・教科部会での普及事業説明			626人	
	教育センター共催研修	ZINE作り、閲覧室・展示室見学	7月27日	研修室	20人	
	山梨県立図書館共催企画	対談「三枝昂之館長×金田一秀穂館長ス ペシャルトーク」	8月11日 (金・祝)	講堂	157人	
	教師のための学習会	それぞれの源氏物語、新収蔵品展	11月、2月	展示室	21人	
	やまなし文学賞	運営委員会、表彰式	5月、1月、3月	研修室	75人	

(5) 刊行物の記録

① 山梨県立文学館館報 (A 5 版カラー 8 頁 観音折り)

117号 令和 5 年 9 月10日発行

【寄稿】 読み方を花束にして 山崎ナオコーラ (作家)

118号 令和 6 年 3 月10日発行

【寄稿】 中村星湖展に寄せて 中丸宣明 (法政大学教授)

② 特設展「それぞれの源氏物語」パンフレット 令和 5 年10月28日発行 (A 4 版 8 頁)

③ 山梨県立文学館年報 (令和 4 年度) 令和 5 年11月 1 日発行 (A 4 版88頁)

④ 資料と研究 第二十九輯 令和 5 年 3 月31日発行 (A 5 版63頁)

富士との向き合い方—詩歌の中の富士山

三枝 昂之

飯田蛇笏 嶋田青峰宛書簡 翻刻 一九一六年～一九一八年

高室 有子

辻邦生書簡 翻刻 近藤信行・高室陽二郎・大澤宏孝宛

中野 和子

佐佐木茂索日記「且樂軒記」六② 翻刻

保坂 雅子

中村星湖作成スクラップブック[㊤]その四

齊藤初美・高木美和・水上百合子・千野国弘

編集後記

(6) 閲覧室の運営

① 閲覧室の設置

山梨県立文学館設置及び管理条例と施行規則に基づき、県民・文学館来館者への資料・情報の提供及び調査・研究に対する助言を主な事業として、閲覧室の運営を行っている。

② 閲覧室の利用

ア 利用時間

平日 午前9時～午後7時

土・日・祝日 午前9時～午後6時

※令和4年12月1日から、令和5年4月30日まで、空調工事のため全館休館した。

イ 利用手続

書庫内の資料を利用する場合は、「閲覧カード発行申込書」に必要事項を記入し、「閲覧カード」の交付を受ける。閲覧を希望する資料名を「文学資料等閲覧承認申請書」に記入し、受付に申し込む。

ウ 利用対象

文学資料などの調査・研究、読書を目的とした利用とする。

③ 閲覧室の業務

ア 所蔵資料の閲覧・情報提供

閲覧室では文学作品・文学研究書を中心とした図書、逐次刊行物、県内外文芸誌、新聞などを収集し、利用に供している（一部閲覧制限資料あり）。

また、画像情報システムにより、特殊資料の芥川龍之介資料、樋口一葉の「たけくらべ」再掲本原稿（複製）、中村星湖「少年行」原稿、山崎方代草稿など、実物の閲覧が困難な資料を、画像で閲覧に供している。

イ 文献検索システムによる書誌情報の提供

所蔵資料（図書、逐次刊行物、特殊資料、マイクロ資料、視聴資料）の書誌情報は、文献検索システムにより、閲覧室内のコンピュータ端末及び当館ホームページからの検索が可能である。

図書は通常の書誌情報に加え、内容細目もデータ化し、全集・シリーズに収録されている個々の作品名、作者名からの検索も可能としている。

逐次刊行物については、一部のものは論文名、作品名、執筆者名からの検索も可能である。

ウ 調査・相談業務（レファレンスサービス）

閲覧室に寄せられた調査・相談・照会などの依頼に対しては、文献に基づき、司書、学芸員などが対応している。質問は、電話、文書、FAX、

電子メールでも受け付けている。

※4月の工事休館中は電話・メールのみ対応した。

エ 複写サービス

著作権法に基づき、一部の禁複写資料を除き、所蔵資料の複写サービスを行っている。（有料）

※4月の工事休館中は郵送複写のみ対応した。

オ マイクロ資料閲覧室の利用

山梨日日新聞や明治期刊行物集成などのマイクロ資料の利用に供している。

カ ビデオブースの利用

文学館の紹介及び文学資料の情報を多角的に提供するため、閲覧室にビデオブースを併設し、文学関連の映像資料を提供している。

キ 朗読テープ・CDの利用

朗読テープ・CDは文学関係のものを中心に所蔵し、コーナーを設けて利用に供している。5月8日までは休止した。

ク 個人研究室・共同研究室の利用

閲覧室内に個人研究室2室、共同研究室2室が併設されており、研究・研修などの利用に供している。（有料）

ケ 資料紹介

所蔵する資料のほとんどが書庫内にあり来館者の目にふれることが少ないため、収蔵している図書・雑誌の紹介を目的として、テーマを決めて閲覧室内で「資料紹介」を行っている。令和5年度の実施内容は次ページのとおり。

コ 閲覧室トーク

職員が、閲覧室内で、提供しているサービスや、資料の検索方法、閲覧方法等を説明するとともに特色ある所蔵資料を紹介。令和5年度は次ページのとおり3回開催した。

④ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関する5類引き下げを受けた対応

前年度から、マイクロ資料閲覧室は予約制、ビデオブースを定員1名、個人研究室を定員1名、共同研究室を定員4名、朗読テープ・CDの利用を休止とする対応を取っていた。新型コロナウイルス感染症の「5類」への引き下げを受け、5月9日から利用方法及び定員を感染拡大以前の方法に戻した。あわせて、カウンター設置の亚克力板を撤去した。

なお、消毒液・空気清浄機の設置は継続した。

閲覧室事業実施状況

◆ 閲覧室資料紹介

	タ イ ト ル	展 示 期 間	備 考
1	こどもの本のいま・むかし	令和5年7月14日(金)～9月24日(日)	企画展「ふしぎ駄菓子屋銭天堂へようこそ」関連
2	昇仙峡文学散歩	令和5年9月27日(水)～10月26日(木)	秋の常設展「昇仙峡名勝指定100周年記念」関連
3	平安文学―源氏物語を中心に―	令和5年10月28日(土)～12月17日(日)	特設展「それぞれの源氏物語」関連
4	教科書に載った文芸作品	令和6年1月30日(火)～4月5日(金)	

◆ 山梨の文学者資料紹介

	タ イ ト ル	展 示 期 間	備 考
1	誕生日にちなんだ資料紹介 村岡花子(6月21日生まれ)	令和5年6月21日(水)～7月12日(水)	村岡花子 生誕130年
2	小林一三 生誕150年	令和5年9月27日(水)～10月26日(木)	小林一三 生誕150年
3	誕生日にちなんだ資料紹介 菊島隆三(1月28日生まれ)	令和6年1月17日(水)～2月4日(日)	
4	誕生日にちなんだ資料紹介 李良枝(3月15日生まれ)	令和6年3月1日(金)～3月24日(日)	

◆ その他の資料紹介

	タ イ ト ル	展 示 期 間	備 考
1	桜桃忌	令和5年6月16日(金)～6月20日(火)	太宰治関係資料
2	七夕と星の展示	令和5年7月1日(土)～7月13日(木)	季節・行事に関するミニ展示
3	芥川と河童(河童忌)	令和5年7月22日(土)～7月27日(木)	芥川龍之介関係資料
4	蛇笏忌	令和5年9月29日(金)～10月6日(金)	飯田蛇笏関係資料
5	一葉忌	令和5年11月17日(金)～11月26日(日)	樋口一葉関連資料
6	クリスマスの展示	令和5年12月8日(金)～12月24日(日)	季節・行事に関するミニ展示
7	周五郎忌	令和6年2月9日(金)～2月16日(金)	山本周五郎関係資料
8	名作に見る富士山	令和6年2月20日(火)～2月28日(水)	「富士山の日」フェスタ関連

◆ 閲覧室トーク

閲覧室の利用方法やサービス、特色ある所蔵資料などを30分程度で紹介した。

7月23日(日)8名参加、8月19日(土)3名参加、11月20日(月・県民の日)12名参加で実施。

◆ X(旧Twitter)による情報発信 (令和4年12月～令和5年4月の工事休館中)

「今日の文豪」、「心に残る名文」と題したシリーズで、文学者に関する話題を発信した。



閲覧室資料紹介「昇仙峡文学散歩」



閲覧室トーク (11月20日)

4. 収蔵資料の概要

(1) 資料収集の方針

資料の収集は「山梨県立文学館資料収集方針」（令和4年4月1日施行）に基づき、樋口一葉・中村星湖・飯田蛇笏・芥川龍之介・井伏鱒二・太宰治など山梨県出身・ゆかりの文学者の資料収集を行っている。原稿・書簡・書画など文学者の直筆資料を中心とする特殊資料と、図書・雑誌などに分けて分類・整理している。

(2) 特殊資料の購入状況（令和5年度）

	資 料 名	点 数
1	太宰治 砂子屋書房 山崎剛平宛書簡	4
2	木々高太郎「裏窓（ヒッチコック作品）」原稿 ほか	2
3	檀一雄文学碑 除幕のしおり パンフレット	1
4	辻邦生「感覚のめざすもの 森有正論の試み」原稿	1
5	米澤順子 国民新聞學藝部宛書簡	1
6	金子兜太 村上一郎宛書簡	20
7	「飯田蛇笏先生御生誕百年記念大会」関係資料 ほか	2
8	飯田蛇笏 嶋田賢平宛書簡	2
9	李良枝 岩橋邦枝宛書簡	1
10	飯田蛇笏「巫女の剣佩きたる雪月夜」軸装 ほか	5
11	飯田蛇笏「聖芭蕉かすみておはす庵の春」額装 ほか	9
12	前田晁「責任を好まない人」原稿 ほか	2
13	宮沢賢治 保阪嘉内宛書簡 複製	15
14	三宅龍子「こき返る舟まつほとを堤みち結ひてはとく青柳のいと」短冊ほか	5
15	向山富士雄 画「振花」（宮沢恵理子 著）第31回やまなし文学賞挿絵原画	1
16	小林康浩 画「三日月」（菱山愛 著）第31回やまなし文学賞佳作挿絵原画	1
17	小林宏 画「雨を知るもの」（秋田柴子 著）第31回やまなし文学賞佳作挿絵原画	1
18	丸山真未 画「追いかける瞳」（山田孝 著）第31回やまなし文学賞青春賞挿絵原画	1
19	鈴木史帆 画「行路」（成瀬なつき 著）第31回やまなし文学賞青春賞佳作挿絵原画	1
20	郁 画「畜ケルベロス談」（米山柊作 著）第31回やまなし文学賞青春賞佳作挿絵原画	1
21	渡辺りさ 画「悪意の居留守」（伊藤東京 著）第31回やまなし文学賞青春賞佳作挿絵原画	1
22	三浦宏作「銘酒屋 菊の井」模型	1
	合 計	78

(3) 特殊資料の受贈状況（令和5年度）

	資 料 名	点 数
1	柳原白蓮「初夏やしら百合の香に抱かれて寝るとおもひき若草の床」軸装	1
2	中込純次 池内規行宛書簡 ほか	24
3	永田和宏「ゆつくりと風の光をませながら岬の端二風車ハまはる」一枚物	1
4	「右左口尋常高等小学校卒業記念写真帖」（山崎方代関連資料）ほか	24
5	加賀美子麓 古屋富雄宛書簡 ほか	5

6	権堂園立 権堂花代結婚式写真パネル	1
7	吉本隆明「山本育夫小論」原稿コピー	1
8	李良枝写真パネル	1
9	石橋湛山 進藤篤一宛書簡 ほか	8
10	富士田元彦 秋元千恵子宛書簡 ほか	6
11	向山富士雄 画「振花」挿絵原画	19
12	その他	37
	合 計	128

(4) 文学資料の受託状況（令和5年度分）

【新規寄託】

番 号	資 料 名	点数	年数
第110号	河野裕子「白梅に光さし添ひすきゆきし歳月の中にも咲けるしらうめ」一枚物	1	5
第111号	室生犀星 丸山邦夫宛書簡	1	3
第112号	斎藤茂吉「源實朝」について」原稿	1	5

【追加寄託】

番 号	資 料 名	点数	年数
第92号	石原舟月「団子花つぶらに枯れて撈がれけり」短冊 ほか	43	3
第101号	秋山秋紅夢「墨雨菊花」折帖	1	5

(5) 図書・逐次刊行物収集状況

令和6年3月31日現在

		図 書	逐次刊行物	マイクロ資料	視 聴 資 料
令和4年度末	購 入	37,150	58,108	6,574	687
	寄 贈	68,400	148,105	18	308
	寄 託	4,985	6,124	0	55
	保管転換	3,707	4,450	0	5
	作 製	778	859	1,036	172
	計	115,020	217,646	7,628	1,227
令和5年度	購 入	401	662	0	2
	寄 贈	255	977	0	0
	寄 託	0	0	0	0
	保管転換	0	0	0	0
	作 製	10	15	0	0
	計	666	1,654	0	2
総 合 計	購 入	37,551	58,770	6,574	689
	寄 贈	68,655	149,082	18	308
	寄 託	4,985	6,124	0	55
	保管転換	3,707	4,450	0	5
	作 製	788	874	1,036	172
	計	115,686	219,300	7,628	1,229

(6) 文学資料館外貸付状況

貸 出 先	展 示 会 名 ・ 会 期	貸出資料（点数）
日 本 近 代 文 学 館	企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅰ―芥川龍之介「羅生門」とその時代」 令和5年6月24日～9月9日	芥川龍之介「羅生門」草稿（複製）ほか 計3点
神 奈 川 近 代 文 学 館	特別展「没後30年 井伏鱒二展 アチラコチラ デブンガクカタル」 令和5年9月30日～11月26日	井伏鱒二「本日休診」原稿 ほか 計24点
久 留 米 市 美 術 館	「芥川龍之介と美の世界 二人の先達―夏目漱 石、菅虎雄」 令和5年10月28日～2024年1月28日	芥川龍之介「或阿呆の一生」草稿 ほか 計13点
神奈川県立近代美術館 （ 葉 山 館 ）	「芥川龍之介と美の世界 二人の先達―夏目漱 石、菅虎雄」 令和6年2月10日～4月7日	芥川龍之介「鼻」草稿 ほか 計16点
山 梨 県 立 博 物 館	企画展「小林一三生誕150年 宝塚歌劇の世界 ―清く、正しく、美しく」 令和5年10月14日～12月4日	小林一三『宝塚漫筆』ほか 計2点

(7) 文学資料の閲覧等利用状況

区分	新規利用 登録者数	閉架資料 閲覧者数	閲覧点数		レファレンス 件数	画像情報シス テム閲覧件数	複写枚数	撮影点数
			事前申請閲覧	即日閲覧				
計	54	274	354	961	782	815	2,197(108件)	339(58件)